

本競技会は、完全な無観客での実施となります。競技会を開催するにあたって競技役員、選手、保護者の方々のご協力があって成り立っています。それぞれの感染対策を徹底した上で、参加していただけるようにお願いします。北陸上競技場は、建物の構造上、外部から競技の様子を見ることができるところがあります。しかし、その場所周辺に観戦者が集中しており、現在の状況を考えますと感染対策として不十分であるとの指摘をいただきました。競技会を安全に実施していくために、それらの場所での観戦についてもご遠慮ください。

観戦している場合には、お声をかけさせていただきます。今後の競技会の開催にも関わってくる部分でもありますので、ご理解ご協力をお願いします。

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2021年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は、パロマ瑞穂北陸上競技場の指定時間帯、及びレクリエーション広場とする。ただし、棒高跳・砲丸投の練習については、競技開始前に各ピットで競技役員の指示によって行う。
また、各練習場の練習については競技役員の指示に従うこと。別紙、ウォーミングアップ可能時間帯を参照のこと。
- (2) 競技場のトラックは、出場競技者に限り、大会準備に支障のない範囲で、24日(土)は8:15まで、25日(日)は8:50まで使用できる。
- (3) パロマ瑞穂北陸上競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。
- (4) 更衣は、更衣室を利用する。更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。
- (5) 救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内1階医務室に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は、各種目ごとに異なるので、招集所からの動線(別紙)で必ず確認すること。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳 60分前	30分前 ※棒高跳 50分前
混成競技	最初の種目: 上記該当種目と同様 2種目目以降: トラック15分前に現地 フィールド20分前に現地	

(3) 招集の手順について

- ① 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。決勝はすべて競技役員の誘導に従って入場すること。(予選は誘導しない。また、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない)
- ② 他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合は、本人による2種目同時招集(先に招集を行う種目の招集時に、もう1種目の招集を行う)を認めるので、競技者係に申し出ること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

- ④ 四種競技者は、最初の種目のみ招集所で(3)の①に従い競技者の点呼を受ける。2番目の種目からは、現地で混成競技系の点呼を受けること。なお、フィールド種目は、競技開始の20分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の15分前までに現地に集合すること。
- (4) 2種目を同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド種目について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、無効試技とみなす。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。
- (4) 掲示方法は写真判定(1/100秒)とする。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(競技規則TR21)を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスにより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンスで行う。
- (6) 5組1着+11で行う予選は、+11のうち上位3名をA決勝とする。4位から8位をB決勝とする。+11に入った選手のタイムが、各組の1着の記録を上回っても、入れ替えは行わない。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合は該当者の抽選により進出を決定する。
- (7) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。(競技規則162条6)
ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。(競技規則 TR16 6・7を適用)
- (8) スタートの合図は英語とする。(「On Your Marks」「Set」)
- (9) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所で用意をする。
- (10) リレーのすべてのラウンドにおいて、リレーの申し込みの有無にかかわらず、低学年・共通リレーのどちらかにしか申し込み及び出場することができない。競技規則170条10項に該当するメンバー外の選手が出場する場合も同様とする。なお、それぞれのリレーに申し込みのあった6名以内の競技者は、申し込みをしたリレーにしか出場できない。
- (11) リレー競技においては、同一系統のユニフォームを着用する。
- (12) リレー競技のマーカの使用は1ヶ所とする。また、マーカは主催者側が用意し、審判員が配付する。また、各チームが用意したマーカを使用してもよい。ただし、使用したマーカはそのチームで処理をすること。
- (13) 短距離では事故防止のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (14) 男子3000mはグループスタートとする。
- (15) 走高跳、走幅跳の予選については、2ピットで行う。(日程参照)ただし、競技場の条件、出場人数によっては1ピットで行うこともある。
- (16) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示に従うこと。
- (17) 競技者に対する助力については、競技規則144条2の項を適用する。

5 競技場の入退場について

- (1) 別紙で導線を確認すること。係員の指示があった場合は、その指示に従って行動すること。
- (2) 決勝の入場は競技役員の誘導に従って入場する。(予選は誘導しない)
- (3) 退場は下記による。
 - ・トラック競技 決められた退場口(別紙で確認)から退場する。
 - ・フィールド競技 決められた退場口(別紙で確認)から退場する。競技役員の指示・誘導による。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大ききでユニフォームの胸・背部に確実につける。
- (2) 800m以上の長さのトラック種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード(ビブス)標識を貸与する。
ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。(招集時に受け取り、終了後直ちに係に返却する。)

7 予選通過標準記録について

フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
男子	1m85	4m00	6m55	13m00
女子	1m60	—	5m45	12m50

上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第180条22、第181条8を適用する。

なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

(1) 予選

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.55/1.75	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降 3cm
女子走高跳	1.30/1.50	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00

練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

(2) 決勝

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
男子走高跳	1.60/1.79	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85	以降 3cm
女子走高跳	1.35/1.54	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	4.10	以降 10cm
男子四種競技	1.35/1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	以降 3cm
女子四種競技	1.20/1.35	1.20	1.25	1.30	1.35	1.38	1.41	1.44	以降 3cm

- ① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
- ② 第1位、東海中学総体出場者を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。
- ③ 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。
競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

9 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。

10 表彰について

- (1) 各種目の表彰は、競技終了後に行う。8位までの入賞者は競技役員の指示に従い、表彰控場所で待機すること。ただし、リレー種目との重なりがある場合は、代理人による表彰を認めるので、表彰係まで申し出ること。
- (2) 各種目(OP四種競技含む)の第1位に賞状・優勝バッチ、第2位から第8位までに賞状を授与する。
- (3) 総合の部優勝校に賞状・優勝旗・盾を授与する。準優勝校に賞状・盾を授与する。第3位の学校に賞状を授与する。(総合の部の発表は、全競技終了後、放送で行う)

11 商標について(商標は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による)

(1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守る事。

- ① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 30 cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5 cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、T シャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は 40 cm²以内とする。
- ② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 20 cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
- ③ バッグ・・・製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25 cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

12 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9 mm 以内。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4 mm 四方以内でなければならない。スパイクピンの数は 11 本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則 TR5. 2/TR5. 3/TR5. 4/TR5. 5/TR5. 6 を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則 TR5. 5 の適用を除外する。
- (3) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

13 閉会式について

実施しない。各表彰については、アナウンスにて発表する。

14 その他

(1) 記録の発表について

アナウンスで発表する。

なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

(2) 応援について

無観客のため、応援はしない。

(3) パロマ瑞穂北競技場のテント及びシートの設置については、指定された区域のみとする。(シート固定のテープは養生テープのみとする。)

また、競技場内のテント・シート設置は禁止する。

体育館の場所割りについては別掲の「体育館場所割り」及び地区運動部員から示された場所を厳守する。

(3) ゴミは各自持ち帰り原則とする。

※全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、全国大会受付室(北陸上競技場西側スタジオ)で担当より必要書類を受け取ってください。

該当する学校の顧問の先生、学校関係者の代表者の少なくとも1名は、7月25日(日)の県総体終了後(延期された場合は26日)に、パロマ瑞穂アリーナの第1競技場において監督会議を行うので、必ず出席してください。

全国大会の申し込み関係、宿泊、当日までの流れについての説明を行います。事前に配付した資料をお持ちください。